復曲能 箱崎

復曲能「箱崎」は世阿弥の代表作の一つとされながら、永らく上演が途絶えていた曲で、観世流二十六世宗家・観世清和師が復曲し、平成15年に初演されました。（当時、神遊の囃子方メンバーも一部この復曲作業に携わらせていただきました。）
吹きわたる松風と潮騒の音が混じり合って「四徳波羅密」（菩薩の四つのすぐれた特質）の音を奏でているという聖地を舞台にした、とても美しい曲です。観世清和宗家の指導・監修のもと、神遊が上演に挑みます。

神遊 第34回公演

文化庁重点支援公演

観世清和（撮影・林 義勝）

番組

「箱崎」解説・鼎談　増田正造&神遊

休憩

狂言 **瓜盗人**
シテ（男）山本東次郎　アド（畑主）山本 則孝
後見 遠藤 博義

能 **箱崎**
ツレ（里の女）谷本 健吾
シテ（里の女／神功皇后）観世 喜正
ワキ（壬生忠峯）森 常好
ワキツレ（従者）舘田 善博
ワキツレ（従者）森 常太郎
アイ（所の者）山本泰太郎
遠藤 和久
後見 山階彌右衛門
武田 尚浩
大鼓 柿原 弘和　太鼓 観世 元伯
小鼓 観世新九郎　笛 一噌 隆之
地謡 藤波 重孝　浅見 重好
馬野 正基　岡 久廣
藤波 重彦　武田 宗和
中所 宜夫　関根 祥人

（午後4時45分終演頃予定）

あらすじ

「瓜盗人」うりぬすびと
毎晩畑の瓜を盗まれるのに業を煮やした畑主（シテ）は案山子（かかし）を立てる。ところがすぐに盗人（シテ）に見破られ、案山子は壊され瓜もまた盗まれてしまった。怒った畑主は案山子のふりをして夜番をすることに。そこへやってきた何も知らない泥棒は…。

「箱崎」はこざき
ところは筑前国・秋の筥崎宮、延喜帝（醍醐天皇）に仕える歌人・壬生忠峯（ワキ）が筥崎宮に詣でたところ、月の夜、松の下を掃き清める里の女たち（前シテ・ツレ）に出会う。里の女は、戒定慧の三学の妙文（経文）が入った金の箱を神功皇后が松の下に埋めたことから箱崎の名がついたことを語り、忠峯にあとでその箱を見せると約束して姿を消す。（中入）神功皇后（後シテ）が現れて、箱から経巻を取り出して忠峯に見せながら、天女の舞を舞い、箱は再び松の下に納まる。

一噌隆之

観世新九郎

柿原弘和

観世元伯

観世喜正

山本東次郎

森常好

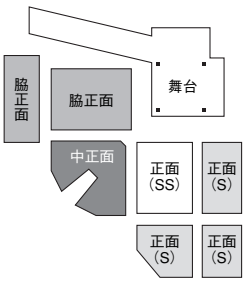
平成19年7月29日（日）午後2時開演（1時開場）　水道橋・宝生能楽堂

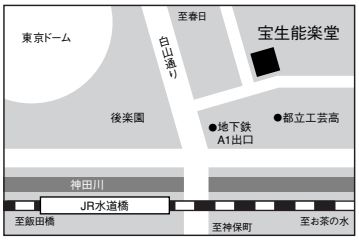
入場料（全席指定）正面SS席 10,000円／正面S席 8,000円／脇正面A席 5,000円／中正面B席 4,000円

※特別学生券 2,000円（現定20席・通信以外の大学生以下に限定させていただきます）
（学生券の方はお申し込み時に学校名をうかがいます。また、当日受付にて学生証をご提示ください）
・club神遊会員と他の学生券は、各席500円引き（神遊事務局にての取扱いのみ）

発売日 6月5日（火）（club神遊会員は別途に優先予約日をご案内しております）

お問合せ・お申込み：**神遊 03-5227-1830**（TEL&FAX）
mail@kamiasobi.com　http://www.kamiasobi.com
電子チケットぴあ 0570-02-9988
（Pコード予約）0570-02-9999（Pコード:377-726）　@ぴあ http://t.pia.co.jp





JR線水道橋駅（東口）都営地下鉄三田線水道橋駅（A1出口）
東京都文京区本郷1-5-9 TEL.03-3811-4843（代）